

令和4年度 佐久市総合計画審議会第2部会（第2回） 会議録

日時：令和4年8月23日（火）

午後1時30分～2時40分

場所：佐久市役所議会棟第3委員会室

【出席者】相馬部会長、丸山副部会長、高橋委員、田村委員、竹重委員、
金澤委員、臼田委員、工藤委員、山崎委員、小出委員

【事務局】木内企画課長、安井企画調整係長、井出主任、小林主任

○協議事項等

次第

1 開会

- ・部会長挨拶
- ・欠席委員報告（矢羽田委員）

2 議事

（1）第二次佐久市総合計画前期基本計画の進行管理について

質疑、意見

事務局	審議の視点としては、平成29年度から令和3年度までの計画である「第二次総合計画前期基本計画」の49の施策における進捗状況や今後の方針について、今後市民の満足度を上げていくためにはどのようにしたら良いのかご意見をいただきたい。 なお、第2部会では、第2章と第3章を担当し、13の施策について審議を行う。
事務局	【「第二次総合計画前期基本計画 令和3年度進行管理報告書」うち、「第2章 地域の特徴を生かしたつながりあるまちづくり」 「土地利用」（19ページ）について説明
部会長	土地利用について、ご質問等ありますか。
委員	高速交通網、インターチェンジ付近の接道の間口が広い道のところに物流拠点が欲しいという事業者の声を聞く。物流拠点がありそうな雰囲気はあるが、実際のところない。この地域は珍しく、売りたいという話より買いたいという話が多い。佐久市は、第1印象として土地のニーズ、動きがあるという印象があるため、そ

	<p>ういう開発の余地があればと思う。一方で工場を建てたいという話もあるが、雇用を確保できないため進出をちゅうちょするとも聞く。佐久地域でそれだけ雇える人がいない、人手不足という声も聞く。物流拠点であればそれほど雇用がなくてもできるけども、多くの雇用を必要とする設備投資をここから立ち上げるのは厳しいという印象がある。</p>
事務局	<p>インターチェンジ周辺は優良農地であり、土地利用の課題があるが、いただいたご意見を参考にしながら商工振興課を中心に検討したい。</p>
委員	<p>佐久平駅南地区のように、重点化して集中投資をしていくような開発が良いと思う。春日温泉も、中途半端に投資するのではなく、集中投資してみてはいかがだろうか。</p>
委員	<p>ヘルシーテラスの進入路が非常に狭いということで、ようやく拡幅工事の設計に入るところと聞いている。それはありがたいが、市内の事業者がそこに事務所を設置する計画があり、そうなるとうまますあその周辺で交通問題が発生するのではないかと思うため、併せて検討をお願いしたいです。</p> <p>それから、昨年、岸野地区の下県南側辺りに、大規模なキュウリの栽培地を作りたいという話があった。岸野地区は優良なお米の産地なので反対意見もある。農業従事者の高齢化が進んでいるが、まだ今しばらくはあそこを潰されると困るという人が何人かいる。今は計画が頓挫しているようだが、そういうことで総合的に検討していただければありがたいです。</p>
部会長	<p>他によろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(意見なし)</p>
部会長	<p>今出ました意見はまた報告書の中に入れていただければと思います。それでは次の説明をよろしく申し上げます。</p>
事務局	<p>「市街地」(20 ページ) について説明</p>

部会長	市街地について、ご意見・ご質問はありますか。
委員	無電柱化はどの地域で進んでいるか。
事務局	現在、区画整理事業を行っている佐久平南地区で行っている。今それ以外のところは、検討している状況である。
委員	災害対応や都市景観として、無電柱化は良いと思うが、ただ管理費や調整が大変な事業だと思うので、長い期間で計画して重点地区を定めてやっていただくのが良いと感じる。
委員	電柱化の費用負担は、どのようになっているのか。
事務局	確認して、次回の会議で報告する。
委員	景観条例などを活用して、市が補助するなどして、古いまちなみを生かした、魅力あるまちづくりを行ってはいかがか。観光としての魅力も上がり、自然と人が集まってくると思う。市全体だと難しいので、エリアを絞ってやっていくことが良いと思う。
部会長	他によろしいでしょうか。
委員	(意見なし)
部会長	今出ました意見はまた報告書の中に入れていただければと思います。それでは次の説明をよろしくお願いします。
事務局	「公共施設」(21 ページ) について説明
部会長	公共施設について、ご意見・ご質問はありますか。
委員	今後建てる公共施設については、デザインとか色とか、ある程度統一性が必要だと思う。
委員	例えば、市の車など白やグレーばかりでなく、市の統一したイ

委員	<p>メージカラーで統一するとわかりやすく良いのでは。</p> <p>サウンディング型市場調査について、応募者の考え方からすると、調査には当然お金やマンパワーをかけて調査して、こういう絵でどうですか、というところまで応募でやるわけであり、本当はその先にその事業が具現化されて、入札が取れて初めて利益に繋がってくるという流れからすると、前工程だけ応募しても、損してしまうところもある。その後工程のところは具現化したときに、何か参加しやすいようなインセンティブがあった方がより応募者が増えるのではないかと考えている。</p>
事務局	<p>今後の参考にさせていただきます。</p>
委員	<p>PFI と PPP の違いについて教えていただきたい。例えば、中込会館はどちらかに該当するのか。</p>
事務局	<p>詳細を確認して次回報告する。</p>
部会長	<p>他によろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(意見なし)</p>
部会長	<p>今出ました意見はまた報告書の中に入れていただければと思います。それでは次の説明をよろしくお願いします。</p>
事務局	<p>「住宅」(22 ページ) について説明</p>
部会長	<p>住宅について、ご意見・ご質問はありますか。</p>
委員	<p>(意見なし)</p>
部会長	<p>ないようなので、この施策については、このように取組を進めていただくということで、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(異議なし)</p>

部会長	それでは、次の説明をお願いします。
事務局	「高速交通ネットワーク」(23 ページ) について説明
部会長	高速交通ネットワークについて、ご意見・ご質問はありますか。
委員	質問ですが、中部横断自動車道の仮称長坂ジャンクションから八千穂高原インターチェンジまでは、有料道路となるのか。
事務局	佐久・小諸ジャンクションから八千穂高原インターチェンジまでは無料で通れますが、長坂までがどのようなになるかは、まだ分からない。
委員	松本～佐久連絡道路は、どのような工期で完成予定で、道路はどんなイメージとなるのか。
事務局	関東ブロック新広域道路計画では、大きい丸で佐久市から松本市までを直線で結んでいる程度であり、構想ということはまだ全く決まっていない状況である。
委員	今後の方針のところ、北陸新幹線の金沢・敦賀間が書かれているが、23年度末に開通であるため、「整備を促進するとともに」ではなく、開通を見据えて何か取り組みします的な感じの方がいいのではないかなと思いました。
事務局	ありがとうございます。参考にさせていただきます。
部会長	他によろしいでしょうか。
委員	(意見なし)
部会長	今出ました意見はまた報告書の中に入れていただければと思います。それでは次の説明をよろしくをお願いします。
事務局	「地域交通ネットワーク」(24 ページ) について説明

部会長	地域交通ネットワークについて、ご意見・ご質問はありますか。
委員	デマンドタクシーは最近よく見かける。一人暮らしをしている知り合いで、病気をしたために運転できなくなった方が利用しているが、夜間の利用ができないということでとても切ながっていた。アンケートで他にもそういう声が上がっているかは不明であるが、それも考慮していただきたい。
事務局	ご意見は所管課に伝えさせていただきます。
委員	公共交通の中に JR 小海線の記述が全くないのは、どうなのかという感じを受けた。 あと、市内のバス交通はデマンドバスだが、都市間を結ぶバス交通が大きな課題になっている。千曲バスの佐久～上田線等が廃止になる中、地域、都市間を超える移動、具体的には高校生の通学とお年寄りの病院、買い物だが、その辺をどう担保するのが大きな課題になっている。市民の目線から見た評価っていうことであれば、なかなか書きづらいのかもしれないけど、何か一言あった方がいいのかという感じを持ちました。
事務局	ご意見として伺う。
部会長	他によろしいでしょうか。
委員	(意見なし)
部会長	今出ました意見はまた報告書の中に入れていただければと思います。 予定した議題は終了しました。全体を通して、ご意見などはございますか。ないようですので、以上で本日の全ての審議が終了となります。

(2) その他

部会長	その他について、事務局から何かありますか。
-----	-----------------------

事務局	第2部会の次回開催は、8月29日（月）13時30分から。今回は、第3章の審議を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。
部会長	それでは、最後に全体を通して、委員の皆さんから、何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、以上で議題を終了とします。ありがとうございました。

3 閉会

（確認事項）

○無電柱化の市負担について

- ・無電柱化の整備費について、国土交通省調査によると、電線共同溝方式という電柱を地中化する方式では、1kmあたり約5.3億円かかる試算されている。道路管理者である市と、中電などの電線管理者である電力会社の両方で5.3億を負担する形になり、道路管理者である市の負担が1kmあたり概ね3.5億円、電線管理者が1.8億円で合わせて5.3億という多額のコストがかかると試算されている。電線や変圧器等にかかる費用は電力会社の負担となり、地中に電線を通す管、管を埋めるため道路整備にかかる費用が市の負担となる。

○PPP・PFIについて

- ・PPPとは、公民が連携して公共サービスの提供する総称を指しており、そのなかに指定管理者制度、市場化テスト、あとは実際の業務を民間業者に委託するアウトソーシングなどがあり、この全てを含めてPPPと呼んでおり、PPPのなかにPFIも含まれる。
- ・PFIとは、公共施設等の設計、建設、維持管理および運営に民間資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うこと。公共サービスの提供を民間主導で行っていくためには、公共施設の建設から民間事業者が関わり、公共サービスの提供も視野に入れた建物を整備し、民間が公共サービスの提供を行う。
- ・中込会館については、恵仁会が建設した建物の一部を借りて、今公民館活動を行っているため、公民館活動自体は行政が行っており、建物を借りているだけとなるため、PPP PFIのどちらにも該当しない。
- ・市ではPFIはまだ導入が進んでおらず、実際に建物の整備から公共サービス

まで一元的に民間の事業所と連携して行うところまでは至っていない。